

東三筋町百年史 座談会



出席者
 浅原和男・井村晃宗・碓井州恵
 碓井成人・大池家寿光・粕谷芳雄
 加藤久典・北原康史・倉本伸也
 杉山年昭・関野禮子・寺林雄二
 苗木奈美子・中村順一・長谷川邦雄
 藤田えつみ・三上千津子・御簾納則代
 麦倉成子・松本唯司・矢島高治
 吉村直己・若山富司・渡邊陽彦

第1回 平成30年 7月14日
 第2回 8月6日
 第3回 10月28日

司会 嶋丈太郎

司会 嶋丈太郎です。楽しい座談会にしたいと存じます。はじめに、昔はこんな経験したんだよとか、子供の頃の遊びですね、遊び場が決まっていたとか、盛り場の話とか、いろいろ伺ってまいります。よろしくお願ひします。

第一部

司会 では、「こんな話を聞いた」それから「こんな体験をしたんだよね」というお話から始めましょうか。

粕谷 ここで生まれて85年です。私の一番大きな出来事、戦災で全部焼かれました。学童疎開で宮城県の白石に行って、6年生なんで卒業ということで3月の7日に戻りました。その2日後に丸焼けになったわけです。

9日の夜、小島町の方に逃げて、朝4時頃には全部焼けたというので帰ってきた。火事の時とはかく風上に逃げろと言われていたので西に向かって逃げた。三筋は火の回りが遅かったので、亡くなった方は少なかったんです。

その時、現在の蔵前小学校、当時の精華小学校が残ったんです。周りは全部焼けたけど、西風が強くて、西側に墓地があった関係で消し止めたって聞きました。

碓井 昭和39年生まれです。ここに15年し



浄念寺 東三筋の西側、新堀通りを越えての向かい側にある寺院です。1596(慶長元年)年に神田駿河台で創建し、1605(慶長10)年に現在地(蔵前4丁目)に移転し、当時は2千数百坪の敷地を持つ広大な伽藍でした。寺領三十石の御朱印状を拝領した由緒ある浄土宗の寺院です。41代横綱千代の山のお墓があります。

たよつです。

三上 夕方なんかに行くともう全然。自転車で走っても通れなかったし。人がいっぱい。今は閑散としちゃって(笑)。その頃はおかず横丁も佐竹商店街も凄かったですよ。母と買い物に行くとビックリしました。買い物かごぎざぎざして行きましたよ。値段じゃなく、便利だね。

御簾納 私も三上さんと一緒に嫁にきたんで、古い話は母から聞いていましたけど、だいたいお祭の話。母も婦人部で活動していて、町内の活動に入った切っ掛けは母です。「お母さんもやってたんだから、や



昭和30年代、下町の家庭の様子 終戦後の苦しい時代を乗り越えて、平和なときが訪れました。(台東区立下町風俗資料館)

碓井 この町会に飛び込んだことですね。子供が小学校に上がる時に越してきましたけど、どうせ住むなら町会の行事も参加して楽しもうと思いました。最初は閉鎖的に見えましたが、なかなか声を掛けてくれない感じで。でも、飛び込んでいくと受け入れてくれたのが一番印象深い点です。それから色々な行事も声掛けてくれました。

関野 父から聞いた話を。合羽橋通りは川が流れていて、今も下に川があつて何年かおきに掃除していると。ウチの前の通りがこの界限で一番の本通りだった。魚屋さんから何からズツとあり、鳥越様も今は毎年お祭で本社神輿が通るが、昔は一年おきに本社が通るけど、ここは本通りだから必ず通るって話を聞きました。

か住んでないので、お話できるのは最近のことになります。

司会 この十数年の間で一番印象的なことというと?

松平さんのお屋敷の跡で、その水路が新堀川に抜けていて、家を建てる時に御影石の水路跡が見つかりました。

司会 合羽橋から流れてくるのが暗渠にな



タイガービルディング 蔵前4丁目の国際通りに面し、黄土色のスクラッチタイトルの外装に珍しい丸窓を持った地上5階、地下1階の鉄筋コンクリート造のビルです。1934(昭和9)年にアパート(金時アパートと呼ばれていた)として建てられました。東京大空襲を乗り越えて台東区内でも古いビルで、2016(平成28)年に文化庁の登録有形文化財に指定されました。

りなさい」と言われて。

三上 私も母と交代と言われて婦人部に。ああ、そういうもんならだつて。

御簾納 佐竹の商店街なんか行ったら大変だった、歩けなかったのよって言われて「ええっ?」って。私が来た頃は衰退気味でし

たから。

関野 私は救世軍病院の生まれなんです。82年、三筋に住んでいます。

粕谷 関野さんの家の前に爆弾が落ちたよね。

関野 地盤がゆるくてポツと入っちゃっ

た。爆発せずにガラス1枚割れなかった。3月10日の少し前でした。3月10日の前日まで父は皆で隣組で火を消す練習をしてたの。それでその晩に空襲でしょ。

杉山 子供の頃に、町会で年に1回バスで旅行に行っていた。子供心に家族旅行よりも記憶がある。確か小学校の低学年、あるいは幼稚園なのか。

司会 バス何台で行くんですか？

杉山 1台です。それから、遊びでは運動会です。その時の子供心のヒーローが松本さん。格好よかったです。鉢巻きして走るのが早くて。友達の家に行くと、生田(ブレス屋)さんは中二階があつて、「三丁目の夕日」みたいに上京したお兄ちゃんが仕事してる。ある家には卓球台があつて、お兄ちゃんたちが遊んでいる時に入れてもらえる。そういうお兄ちゃんを周りにいて、お祭もワツと行くから、担ぎ手不足なんかない。町会自体でも楽しかった記憶があります。

私は昭和25年生まれですが、鬼ごっこなんかすると、ウチの前あたりから家と家の隙間を通ってずっと遠くまで行けた。かくれんぼには絶好でした。

北原 このへんで残っているビルは少ないですよ。木造は小島町あたりに残っているけど、ビルで残っているのは少ない。タイガービルには仕事で電気の工事屋さんに行くことがある。あのビルは表面はコンクリートが柔らかい。でも、中はものすごく固いです。ドリルが入らない。今でも相当しっかりしている。



三上 そうです。主人はここで育ったんですが、周りが皆、弟や妹をおんぶして遊んでいたらしいんです。それが羨ましくて、お隣の赤ちゃんを借りておんぶして一諸に遊んだって聞きました。その中でルールやなんかを学ぶこともありすよ。ね。

司会 今だったら考えられないですよ、いろいろな理由で。

杉山 そういう話が多いんです。僕も消防団に入ったら、お米屋さんの麻生さんのおばちゃんかいて、年昭さん、あんたは私がさんざんおんぶして育てたのよって。頭が上がる(笑)。

中村 皆さんで夫婦で働いているから、子供預かったり多かったの。今度の写真にも出てくるけど、ねんねこ背負っているのが多

粕谷 昔はタイガービルって言わず金時アパートって言ったの。

北原 あれは戦争前からあつて今だに使っているわけ。80年前の設備を直し直して使っていて、何とか電気がついてる状態だね。

中村 関東大震災のあと出来たビルだから、三筋町にはタイガービルと例の救世軍のビル、病院だったけど、その2つしかなかった。

北原 それが残ってまだ使っている。町会は100年だけどあそこだつて80年ですからね。ウチは戦後に現在の場所に来たので戦後しかわからないけど、前が新堀通りで通っている都電で遊ぶのが流行った。釘をつぶしたり、石を置いて家から覗くのが小さい時からの遊びで一番面白いことでした(笑)。

新堀通りになったのを調べたら、合羽橋商店街の70周年記念の資料が出てきました。新堀川を埋めて新堀通りにしたというのがありました。

中村 大正2年頃に埋め立てが始まりました。東京市から見ると電車通さなくちゃいけないので、大正10年8月にすぐ電車を通したんです。春日通りも上野の方まで行きますよ。途中の小島町と竹町の間は線路がつながってなかった。向こう側は本所まで行つて、あつちは本郷まで行つたけど、途中のこの一区間だけ2か月間つながっていません。

北原 もうひとつ。このあいだ昭和29年頃だと思われる写真が出てきた。ウチが写っているんですが、左側が鍋茶屋さんの立派

ビー玉 いつ頃から作られたか定かではありませんが、エジプトや中東などの遺跡から発掘されています。日本での「ビー玉」遊びのルーツは平安時代の書物に書かれています。江戸時代になると子供の遊びとして発展しました。現代の馴染みのあるビー玉遊びは、昭和30年代まで子供たちの人気を集めました。

い。そういう時代だったんでしょ。

司会 そんな写真よく見ますが、あれは弟や妹じゃないかも知れません。

中村 そうそう。

司会 とところで、町内に駄菓子屋さんは何軒くらいありましたか？

粕谷 戦前は1軒ですね。戦後は、藤田さんがちょっとやってた。戦前は今の三上さんの斜め向かいに「みきや」という有名な駄菓子屋がありました。

北原 信号の向こう側にありませんでした？

松本 それと、新川屋酒店の前、それから今の魚米のハス前。

関野 はやしや。

な建物、右側が長沼さんで印刷屋さんの古い建物がある。ウチはそのころ平屋でね、ずっと奥の方に煙突が写ってるんです。場所わからないけど、これはこの煙突ですか。

中村 あれもうちょっと奥じゃないかな、もつと鳥越側のほう。

北原 なにしろ、この辺は風呂屋が多かったところだから。

司会 北原さんは何年生まれですか？

北原 23年です。早生まれ。

松本 私は昭和19年生まれで、両親とこちに来たのが23年か24年です。お袋の実家が小島町で同じような環境なんですよ。親父が商売やって、子供の頃は一切ほっぽらかされて、公園で陽が沈むまで遊んでいた記憶しかないです。

その頃の道路はまだ車が少なかった。一番記憶にあるのは、子供の頃にローラスケートが大流行したことがあるんです。一時、親父が買ってくれて、夜やってて蔵前警察のパトカーに捕まった。だから、遊び場は道路。まだ公園が整備されていなかった。ベーゴマ、ビー玉なんかをしょっちゅう道路の片隅でやっていた(笑)。

司会 そうすると、こちらに移つてらしたのは4つか5つ。まだ焼け跡が？

松本 草ぼうぼうでしたよ。背丈くらいの草ぼうぼうですよ。

関野 焼け跡にカボチャとさつまいもを植えた時、葉かとても立派で、これはすごいってバケツを持って期待して収穫したら、みんな小指くらいのさつまいも(笑)。

ベーゴマ 明治40年頃、金属製のベーゴマが出現しましたが最初は真鍮製でした。その後に鉄製ベーゴマが出ました。大正時代から日本中の子供たちの遊びに用いられました。しかし太平洋戦争中には金属類が統制になり、土製、ガラス製、木製のゴマに代わりました。その後に鉄製ベーゴマが出て、昭和48年頃まで流行りました。東京下町では樽やバケツの上に帆布やテント布を弛ませて張ったものを遊戯台(トコと呼んだ)として、その周りで数人がベーゴマをまわし、誰が長く回転するか、弾き出されないかを競い合いました。負けたら相手にベーゴマを没収されてしまうルールもメンコやビー玉遊び同様に、子供同士の賭け事のような側面もありました。



司会 食べられましたか？

関野 食べられませんでした。葉っぱは炒めて食べたような気がします。

遊びの話は尽きない

司会 次は遊びの話をお願いしますか。戦前から昭和の40年代、50年代くらいになると思んですが、まだ車が少なくて、何でも出来た時代が長かったですよ。こんな遊びをしたよ、ということなど。どなたか口火を。

関野 救世軍の病院がありまして、薬のびんが山のようにあったんですね。そのびんをもらって、「色紙屋さんごっこ」というのをよくやりました。

司会 色紙屋？

関野 折り紙を水に浸して色を出して。赤、黄色、緑とかね、病院でピンを貰ってきて、「いらっしやいませ」って。色紙屋さんごっこしてました、道路で。

司会 それは戦前ですか？

関野 戦前です。それから、「タケノコ一本って、電信柱につかまって、皆で引っ張って一人ずつ抜く。

御簾野 馬跳びなんかもやりましたよ。

司会 馬跳びは女の子の遊びじゃないですよ。

御簾野 いやいや、私たちはやりましたよ(笑)。

三上 地域は違いますけど、馬跳び、馬乗りやりました。

司会 それは男女混合で？

松本 はやしやさんでしたっけ。

中村 みきやは有名だったね。うちのお袋からも聞いていたし。

司会 蔵前の玩具問屋さん、あそこは小売りもやってましたよ。

粕谷 やらないこともないけど、昔はあまりやらなかったですよ。

北原 私はビー玉もメンコも大箱で買ってきましたよ。

松本 看板には売らないって書いてあるけど、売ってくれるんですよ。

中村 俺の同期はおもちゃ屋の息子が多かった。蔵前の問屋が多くて。メンコでもベーゴマでもふんだんに持っているの。負ければウチからボール箱に入ったのを持ってくる。新品を持ってきちゃうわけ。

蔵前の連中が新兵器を持って遊びに来てたから、小さい時にオモチャを買ってもらった記憶がないんですよ。自転車は買ってもらったけど。蔵前の連中はおもちゃ屋が多かったから羽振りきいてたよ。

司会 そりやそうでしょうね。

中村 昭和30年に増田屋がラジコンバスというのを出した。当時で4,500円しました。小遣いじゃ買えない。それを持ってきた奴がいたからね。

やっぱり駄菓子屋生活だったね。育英小学校の裏の駄菓子屋とかね、第八天神社、榊神社の裏にあった。あと、小島公園のところ。あそこは柄が悪かったね(笑)。子供がごちゃごちゃいた。

司会 昔は公園というと必ず紙芝居屋さんが来ましたよ。この界隈は？



エノケンのメンコ
昭和22年



横山エンタツ
昭和22年

国定忠治
片岡千恵蔵
昭和33年頃



立浪四天王
安念山 関脇
昭和31年

安念山 関脇
昭和31年



バットくん
昭和23年

ゲアリー・クーパー
映画 真昼の決闘
昭和27年頃

林家三平
昭和33年頃

怪力くり太郎
昭和34年

天馬天平
昭和35年頃

江戸時代に丸型の土の素焼きしたもの「泥面子」が現れ、明治中期まで子供たちの中で根強く遊ばれました。明治10年代になると「鉛面子」が普及し、現在の遊びのスタイルが出来上がりました。しかし鉛毒が問題となり、明治30年代になると「紙メンコ」が登場し、印刷技術が向上しメンコ絵が多様な魅力を生み出すことになりました。戦前、戦後の遊び道具の少ない中で、全国で爆発的に普及しました。

明治時代の丸メンコ



戦中メンコ



昭和11年 軍人丸メンコ



時代の物価 —こどもが銅貨を握り締めて—

	明治 10 年	大正 10 年	大正 10 年	大正 13 年	昭和 2 年	昭和 23 年
米1升	8 銭	4 4 銭	4 2 銭	1 8 銭	3 0 銭	6 0 円
玉子1個	1.2 銭	2.3 銭	7.8 銭	4.1 銭	3.3 銭	1 5 円
そば うどん1杯	厘~1 銭	8~10 銭	—	—	10~13 銭	1 5 円
コーヒー1杯	—	—	10 銭	10 銭	1 5 銭	3 0 円
その他	はがき1 銭 公衆浴場8 厘 マッチ1箱3 厘 ビール大瓶1 6 銭	公衆浴場5 銭 煙草5 銭 (ゴールデンバット)	煙草7 銭 (ゴールデンバット) 公衆浴場5 銭 タクシー50 銭 (初乗り1km) 真空管ラジオ120 円	新聞月額90 銭 (朝日新聞) 自転車70 円 地下鉄10 銭 (上野-浅草間) 国鉄初乗運賃5 銭 はがき1枚1 銭5 厘	カレーライス10 銭 映画館50 銭	朝日新聞月額70 円 鉛筆1本10 円 バネナ1本40~50 円

時代の物価
子供たちは銅貨を握り締めて、子供の天国である駄菓子屋に喜んで飛び込みました。大正10（1921）年の一銭は、現在の40円ぐらいでしょうか。大正14（1925）年の物価は、コーヒー杯10銭、煙草ゴールデンバット10本入り7銭、生卵1個7銭の時代です。昭和3（1928）年、国鉄初乗運賃5銭、葉書1枚1銭5厘で、一銭が今の25~30円位でしょうか。昭和10（1935）年は、カレーライス10銭、映画館50銭、当時の一銭はいまの20~30円位でしょう。

明治 10 年 一 銭 銅 貨 大 正 10 年 一 銭 銅 貨 大 正 13 年 一 銭 銅 貨

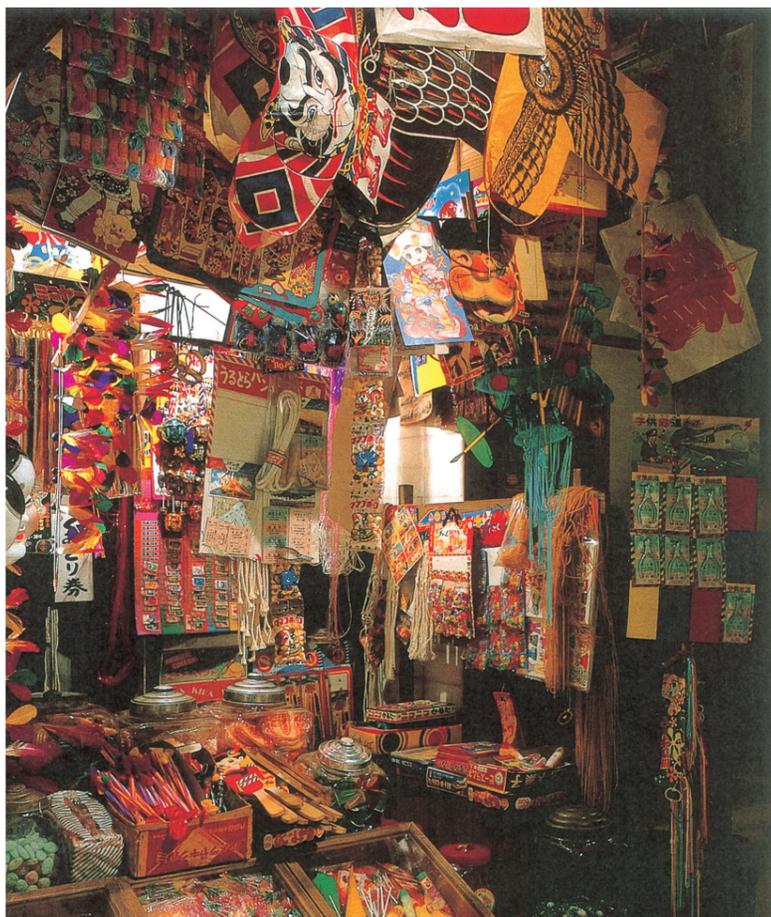


昭和 2 年 十 銭 白 銀 貨 昭和 10 年 一 銭 銅 貨 昭和 13 年 一 銭 銅 貨 昭和 23 年 五 円 黄 銅 貨



駄菓子屋

こども相手の駄菓子や玩具を売る店で、業態や発祥は定かではありませんが、明治、大正時代に出来たようです。1893（明治26）年に作家「樋口一葉」が龍泉寺町で日用品と駄菓子を扱う荒物屋を始め、文学作品「たけくらべ」のモデルになったようです。玩具、豆類、煎餅、金平糖、メンコ、人形などが売れたと書かれています。また作家「加太こうじ」は東京下町の駄菓子屋が一番賑わったのは大正末期から昭和10年頃にかけて、貧困層が多かったことによる。長屋住まいで部屋が狭く、両親とも働いているので子供には「表にいて遊んでおいで、一銭やるから夕方まで帰ってくるんじゃないよ」と言われ、それで駄菓子屋が繁盛し、子供の社交場になったと話しています。駄菓子屋ではチョコレートやチューインガムは舶来菓子で売ってはいない。駄菓子屋の前には縁台があり、そこで将棋や五目並べをする、縁台の近くでメンコやベーゴマをする、女の子は縁台でオハジキやお手玉をする、背中に赤ん坊を背負った大きい女の子は本を読んでいる。とも話しています。



戦後、昭和22~24年生まれの子供は第1次ベビーブームと言われ、子供の数が一気に増えて下町の駄菓子屋が大変賑わいました。今日、残念ながら昔の面影はありません。

(台東区立下町風俗資料館)

中村 来た、紙芝居屋。それから粘土屋ね。御簾野 爆弾なんていうのもありましたね。ドーンって。
中村 お米持っていった。三角公園のところによく来た。
杉山 ほら、四角くてハッパみたいなので。
中村 ああ、抜きね。今もある。
杉山 抜きっていうんで

松本 あの頃は子供が多かったですね。
中村 私たちの年は230万人。今は100万人在ないんだから少ないわけだね。
司会 二部授業というのがありましたね。
関野 早生まれ組というのがあったと聞いたことがあります。

北原 一番多い時、教室が足りなくて講室が全部教室になった。朝礼に全員が校庭に集まらないから朝礼は放送。校長先生の訓示は教室で聞くんです。
杉山 体育館を3つに仕切ったじゃないですか。
北原 そう。体育館も教室になった。
粕谷 私は新制中学の一期生で、本来なら

下町の子供たちに愛されたオモチャの歴史

- 明治 16 年 「お手玉」が発売。
- 明治 26 年 「紙風船」が流行。
- 明治 31 年 「紙メンコ」が普及。
- 明治 40 年 「けん玉遊び」が流行。
- 大 正 6 年 「セルロイド製キューピー人形」が誕生。
- 大正 15 年 「メンコ」「ベーゴマ」が流行。
- 昭和 3 年 「チャンバラごっこ」が流行。
- 昭和 6 年 「黄金バット」の紙芝居が人気。
- 昭和 22 年 「銀行ごっこ」など、ごっこ遊びが盛んに。
- 昭和 24 年 「食品玩具」が盛んに出回る。
- 昭和 29 年 「ミルク飲み人形」が流行。
- 昭和 31 年 「ホッピング」が大流行
- 昭和 33 年 「フラフープ」が大流行。
- 昭和 36 年 「ダッコちゃん」ビニール人形が大流行。
- 昭和 41 年 「ラジコン」がブームになる。
- 昭和 48 年 「オセロゲーム」が大ヒットする。

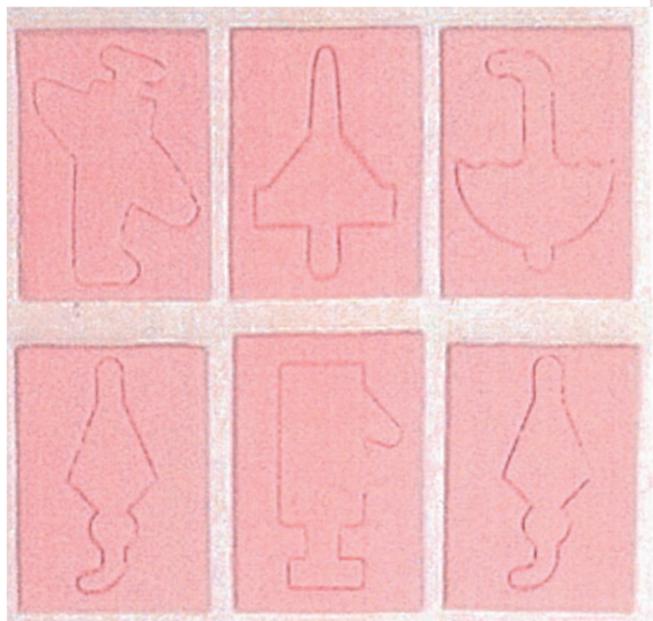
以降、多くの人気オモチャが発売されました。

資料提供 一般社団法人「日本玩具文化財団」より



カタヌキ菓子

昭和のなつかしい遊びで、「カタヌキ」「ヌキ」などの通称で呼ばれました。カタヌキは澱粉、砂糖、ゼラチン、香料などで作った、色づけされた板状の菓みに動物や星、桜などの型を針や爪楊枝などを使い、くり抜く遊びで、駄菓子屋や縁日で流行り、型を割らずに上手にくり抜くことができれば景品がもらえました。



フラフープ

プラスチック製などの素材のパイプを輪の形にして、輪の中に入った人が腰などを振って回転させました。1958（昭和33）年、東京都内のデパートで販売され、日本中で爆発的一大ブームを起こしました。（毎日新聞社より）



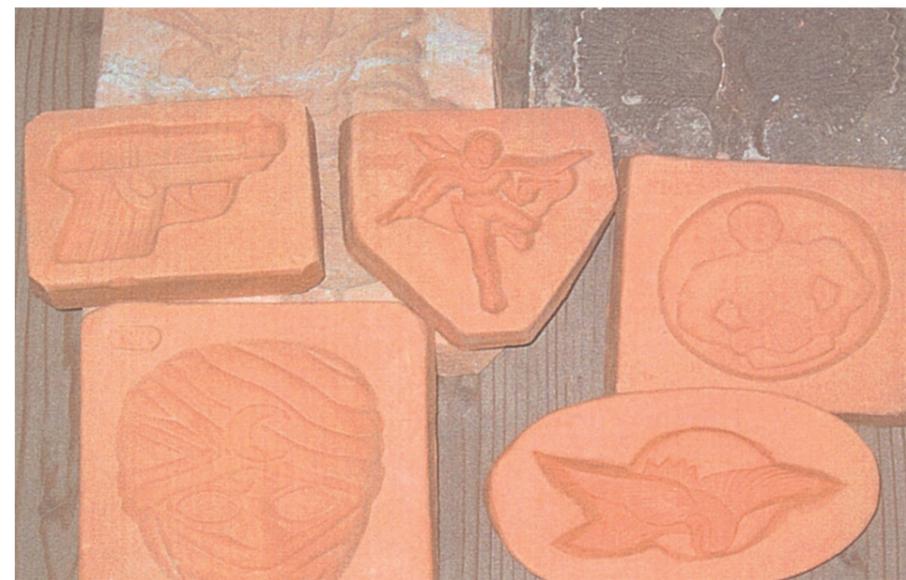
ラジコンバス

1955（昭和30）年11月に蔵前の玩具メーカーの増田屋齋藤貿易（マスダヤ）が発売した、世界初の無線操縦型の玩具で価格は4500円でした。当時の大卒初任給が13000円でしたから、子供にとって高嶺の花でした。

ば蔵前中学なのに、今の台東中学校の3階を借りたんです。精華小学校も借りてましたね。
司会 遊びの話に戻るんですが、ときどき玩具の世界はブームが起きるでしょ。ダツコちゃん、フラフープ、ホッピング、ああいうものはこの界限では？
中村 蔵前が近いからね。
粕谷 そこにフラフープを作っている

人がいた。親父さんが朝早くから飛び回っているの、間に合わないから。
司会 ダツコちゃん？
杉山 そこにツクダがあったじゃない。あそこに行列したの覚えてる。
中村 あそこがライセンスを持っていて、タカラが作っていたんです。
松本 このあたりじゃ、酒井さんの電気機関車。あれは凄かったんでしょ？

中村 HOゲージ、作ってたの。Oゲージとね。
杉山 うちにあるOゲージが全部英語。親父が試作品をもらったとかで。そしたら友達が、テレビに出したら相当高く売れるぞって（笑）。
松本 町内の催しに酒井の小父さんが機関車出してくれたね。俺買ったもん。
北原 銀座の天賞堂まで見に行った。あそこ鉄道博物館、あとカワイって秋葉原に今でもあるけど。
司会 さっきのHOゲージは、東三筋で作っているところがあったんですか？
中村 全部じゃないけどね。組立てはそこでやって、パーツは下職さんがいて。
松本 アメ車が5台も6台も車庫に入っていたんだから（笑）。
中村 有名だった、酒井製作所って。あとでなくなっちゃった。



カタ屋（粘土屋）

昭和30年代に下町を中心に紙芝居屋と同様に、小学校の近くの公園や神社などで、子供を相手の商売。粘土遊びです。動物や花、人気キャラクターなどの絵柄の素焼きの型を並べ、子供は好きな絵柄の型を買って、その型にあった粘土や色粉を買って、型に粘土をつめて、バカッと取り出した絵柄の出た粘土を型の裏に置き、しわや傷をなおし、色粉を塗ってきれいに仕上げカタ屋に見せる。するとカタ屋が出来栄えを見て、点数をつけてくれる。（カタ屋によっては点数カードを出した）そして、その点数を集めて新しい型をもらえ、また粘土や色粉ももらえました。子供たちは、どこから聞いたのか知らないが「おい、カタ屋が公園に来ていぞ」とそわそわする人気の遊びでした。



HOゲージ 鉄道模型

戦後、多くの玩具メーカーや模型メーカーが対米輸出のため鉄道模型を作り、日本の復興と外貨獲得に貢献しました。東三筋の酒井製作所も戦後、Oゲージ（縮尺1/43～1/48、軌間32mm）鉄道模型などの対米輸出を中心とした有名な鉄道模型メーカーでした。Oゲージは昭和20年代から30年代前半が全盛で、昭和35年からHOゲージの模型（縮尺1/87、軌間16.5mm）に移っていきました。

乗り物あれこれ

司会 遊びの話、有難うございました。次は交通機関、乗り物のお話に移ります。バス、地下鉄、都電の話など伺いましょうか。最初の地下鉄、いまの銀座線が出来た頃のキャッチフレーズに「夏も涼しい地下鉄」というのがありましたね。

中村 地下鉄の開通は1927（昭和2）年、浅草と上野の間ですね。昔の面影が残っているのは浅草だけです。浅草の松屋の前の地下商店街あるでしょ、あれが昭和2年そのままですよ。

松本 時々歩きますけど、昔から比べるとほんの一部だけになりましたね。

司会 あの地下鉄はなんで電気が消えたんですか？

中村 パンタグラフでなく台車の横から電気を取っていたんです。接触が悪くて照明が切れちゃうの。

関野 田原町の駅を出ると焼そばの匂いがすごい（笑）。

粕谷 昔わざわざ地下鉄の音を聴きにいききました。運賃も定期券も一律でした。

中村 切符がなかったんですよ。ニューヨーク方式だったんです。

司会 ほかの乗り物はどうですか？

松本 ここは通ってないけど、上野公園から今井まで行くトロリーバスがあった。トロリーは伸びなかったですね。あつという間になくなったやつ。

司会 一番身近な乗り物って、都電ですか？

中村 市電、都電ですね。

粕谷 三筋がわりあい不便なのはバス。だから、区でやっている「めぐりん」は便利ですよ。

中村 都電で開通が遅かった、新堀通りを通るのが。東京駅の南口から三ノ輪まで。

粕谷 31番。新堀通りの暗渠の上は電車が通れないから。蛇善のところで折り返した。

北原 だから東三筋町側は歩道がなかった。反対側は広い歩道があつて羨ましかったんだよね。

粕谷 老松町という停留所があった。

杉山 親父の葬式の時、老松町の停留所が消えていて、道を探ねながら来たと言っていました。目印がないと久しぶりに来た人は困るんですね。

司会 このへんの都電の車庫はどこにあったんですか？

粕谷 この近くでは入谷にありました。

司会 いろいろ乗り物の種類がありますが、遠いのは昔でいう省線



（のち国鉄、現JR）ですかね。

粕谷 省線でしょうね。乗るとしたら浅草橋か御徒町。

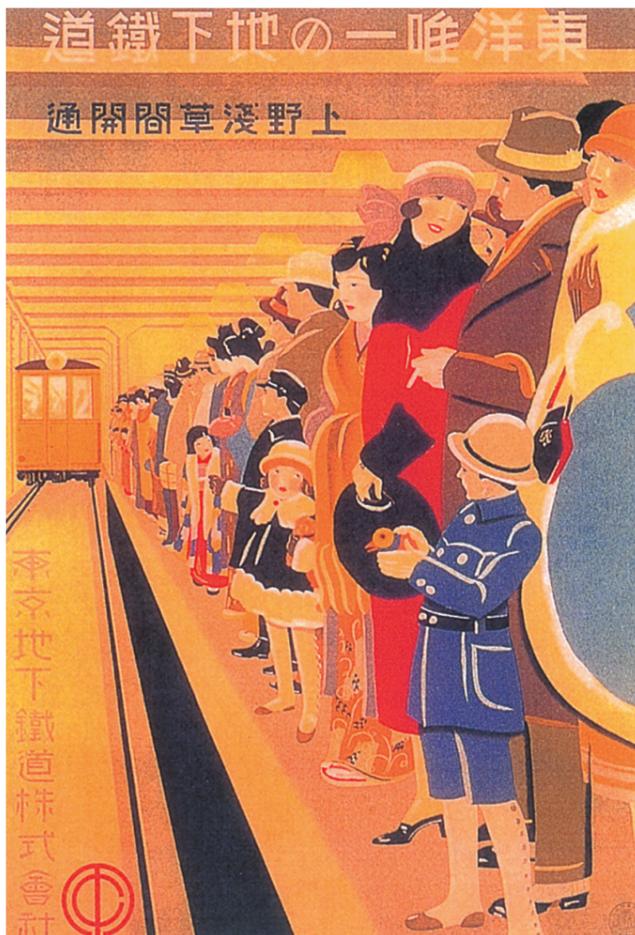
北原 雷門と両国、上野広小路まで歩いて20分、秋葉原まで20分ちよつと、だいたいその真ん中。盛り場に電車に乗らないで行

ホッピング
取っ手と足場の付いた棒の底面がバネで弾むようになっており、体重の反発力で飛び跳ねて遊びました。1957（昭和32）年に発売され、全国に流行しましたが、胃下垂になるといふ噂が広がりブームは沈静化しました。



ダッコちゃん

1960（昭和35）年に三筋町のツクダ屋玩具（ツクダヤ）が販売元で、製造元は葛飾区本田の宝ビニール工業（タカラ）。目が見る角度によってウィンクするビニール人形で、日本中で大流行しました。



日本初の地下鉄

明治末期より東京に地下鉄をつくる計画がありましたが進まず、1925（大正14）年に東京市は地下鉄4線の建設認可をとりましたが、関東大震災の復興や世界恐慌の影響で資金がありませんでした。そこで東京地下鉄道株式会社が1927年に着工し、1927年（昭和2）年に浅草-上野間2.2kmを開通させました。途中駅は田原町と稲荷町の2駅でした。「東洋唯一の地下鉄道」と謳われ、アジア初の地下鉄となりました。

司会 皆さんの行楽、家族でも近所でも、潮干狩りや海水浴というところ？
粕谷 神田川に船宿がたぐさんあるんですよ。あそこに頼んで潮干狩りをやってました。行き先は荒川沖か、時には羽田沖まで行きました。
北原 うちは逗子。
御簾野 行徳で海苔拾いをしたことがある。
中村 ハゼ釣りに葛西橋に行ったね。
北原 私は釣りじゃなくて掴みに行った。堤防の

ところにハゼがいた。
松本 ハゼ釣りに行くのは、上野からトクリーですよ。今井行き。
司会 続いて食べ物話を。表でどんなものを食べたかをお願いします。
粕谷 みくに軒。
司会 洋食屋さんじゃなかったんですか？
松本 みくに軒。粕谷さんと我々とは10歳くらい違いますけど、我々が子供の頃は家内工業が多かったんで、学校から帰ると5円10円もらって、みくに軒へ。
北原 カレーライスは洋食ですよ。スプーン使うのは洋食、黄色いカレーね、
関野 お祭であれをいただくのが楽しかったです（会場笑い）。
松本 食券もらってね。

けるエリアなんです（爆笑）。
御簾野 この辺りは交通が便利。地下鉄は近いしJRもね。結婚前は江戸川のはずれにいました。省線を使うにはバスで行かないと乗れない。そんな生活していたので、本当に凄いなだね大都会だね（笑）って。
司会 市電・都電の運転間隔はどのくらいだったんですか？
中村 10分以上。結構長いです。
北原 今の都バスがほしい10分くらい。「めぐりん」が15分間隔です。
司会 東京の乗り物はすぐに次が来るので便利さがわからないと聞きました。
三上 田舎の若い子が遊びに来て一緒に遊んで、「次の電車にしよう」って言うたら、「ウチの方では次がいつ来るかわか

らないから走って乗る。東京の人は次に乗ろうって言う」って話してました。

両国駅が表玄関だった

中村 僕は国鉄の時代だから、一番思い出に残っているのは房総の海に行くのに両国から乗ったこと（会場同感）。両国駅は人が多かった。
 浅草橋、秋葉原、御徒町の3つの駅は大正末から昭和はじめに出来ました。蔵前は今の江戸通りに馬鉄、馬車鉄道が通り、明治の終わりに市電が通った。日本の駅で最初にエスカレーターが作られたのが秋葉原駅なんです。そんな東京の東の玄関口が両国でした。

らないうちの祖父さんがいた頃は、おかず横丁はなかった。佐竹商店街の中じゃなく、こっこの通り側。今の清洲橋通り、あそこに何軒かあって、そこに買いに行っていたと言っていましたね。
佐竹商店街 最初は古着屋なんです（会場驚き）、向柳原と同じで。だいたい古着屋さんの集まりなんです。そのうちに人が集まってきて、食の物屋が出来ていった。おかず横丁は大正に入ってから、佐竹商店街は明治ですからね。
粕谷 このへんの食べ物屋さんには出前をやらなかったら商売にならなかつたんじゃないの。食べに来る人って少なかったですよ。
中村 やっぱ働いてるから。子供の頃一番嫌だったのは、俺が寝る頃に親が寿司屋に電話するの。大人の時間があつたわけ。早く大人になりたかつたね（笑）。
北原 みくに軒のラーメンって、出前は必ずコシヨウがかかっているんだよね。
第二部 鳥越祭 今昔
司会 それでは、お待ちかねの鳥越の祭のお話に移りましょうか。
渡邊 こども神輿の場所取りをやったのが



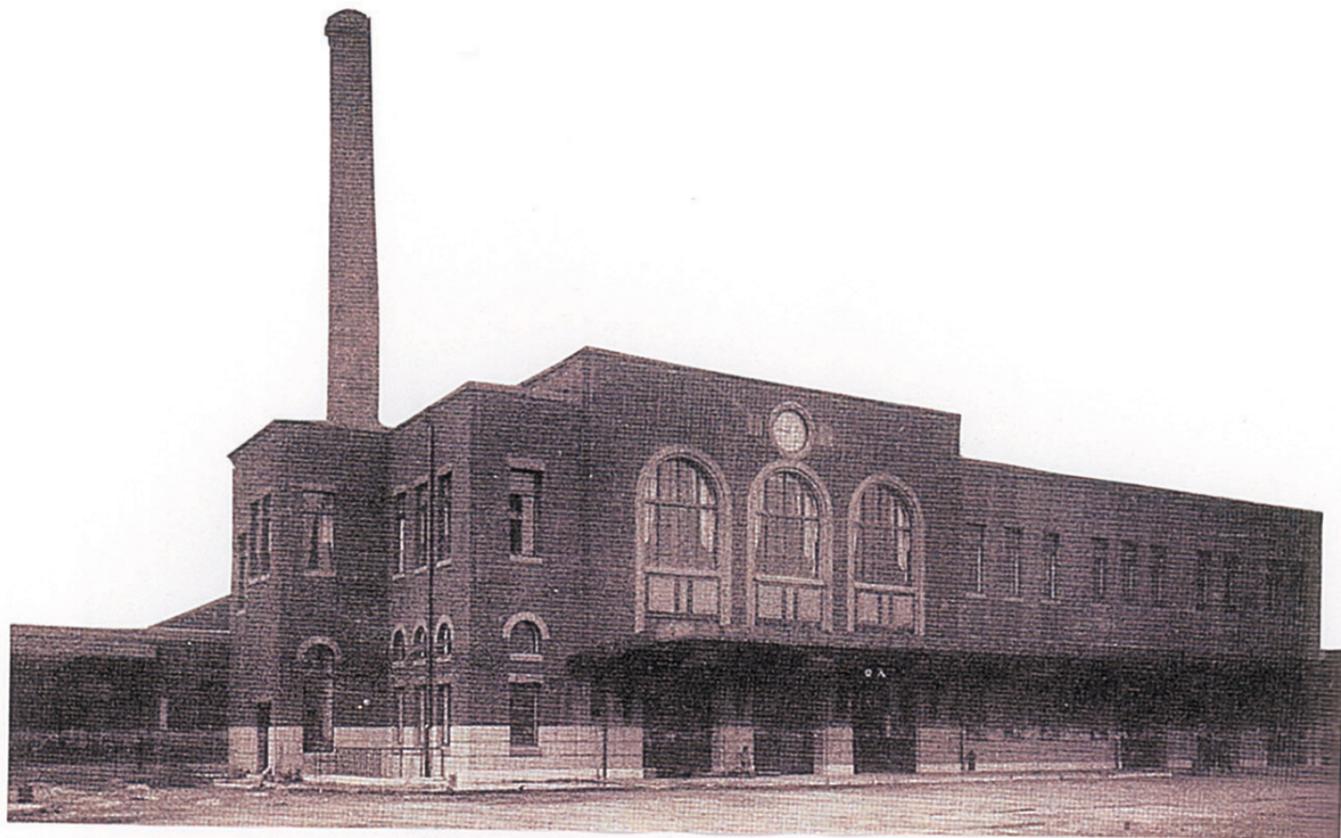
乗車券（鉄道省時代）
1937（昭和12）年の乗車券で3等、5銭でした。



乗車券（日本国有鉄道時代）
1964（昭和39）年の乗車券で1区間、10円でした。

浅草橋駅

JR浅草橋駅は1932（昭和7）年7月1日、御茶ノ水-両国間の延伸時に開業した駅です。当時、千葉や房総方面に行くには両国駅が始発でしたので、中央線と総武線が繋がったことで大変便利になりました。
 駅のホームに上がると、古いレールを多用したホーム屋根の支柱が美しい曲線を描いています。これは開業当時の面影が残っているものです。



両国駅
現在の駅舎は昭和4年に完成。昭和44年まで房総方面の始発駅でした。両国-御茶ノ水間は昭和7年に開通。

司会 幾らくらいだったんですか？
松本 当時、もりそばが25円？30円？ですよ。
中村 お袋から聞いているんですけど、この辺は職人の町だったから、ほとんどおかず横丁の厄介になる人が多かった。でも、うちの祖父さんがいた頃は、おかず横丁はなかった。佐竹商店街の中じゃなく、こっこの通り側。今の清洲橋通り、あそこに何軒かあって、そこに買いに行っていたと言っていましたね。
佐竹商店街 最初は古着屋なんです（会場驚き）、向柳原と同じで。だいたい古着屋さんの集まりなんです。そのうちに人が集まってきて、食の物屋が出来ていった。おかず横丁は大正に入ってから、佐竹商店街は明治ですからね。
粕谷 このへんの食べ物屋さんには出前をやらなかったら商売にならなかつたんじゃないの。食べに来る人って少なかったですよ。
中村 やっぱ働いてるから。子供の頃一番嫌だったのは、俺が寝る頃に親が寿司屋に電話するの。大人の時間があつたわけ。早く大人になりたかつたね（笑）。
北原 みくに軒のラーメンって、出前は必ずコシヨウがかかっているんだよね。
第二部 鳥越祭 今昔
司会 それでは、お待ちかねの鳥越の祭のお話に移りましょうか。
渡邊 こども神輿の場所取りをやったのが

一番記憶に残っています。今は担ぎ手が昔の半分もいない。大人の神輿も同好会がないと祭が出来ない。盛り上がりはいるけど寂しいです。
司会 昔は場所取りするくらい子供が多かったということですか？
渡邊 人もたくさん住んでいたし、今は会社が多くなっていますよね。だから、住んでいる人しか参加しませんよね。
粕谷 住民が少ないからね。昔は職人町で弟子がいて住み込みがいる、一軒に担ぎ手が何人もいました。戦災で拡散して、戦後に戻った方は本当に少ないですね。
司会 以前に住んでいた方が、お子さんお孫さんを連れて祭に参加することは？
粕谷 町としては大歓迎。この町に住んでいて地方に行つて所帯も出来た、子供さんが東三筋に行つて神輿を担ぐ山車を引こうというの結構多いんです。
本 社神輿を担ぎたくても、やたらに担ぐことは出来ないんです。いろいろあつて、できるだけ同じ半纏で統一しようということと5年ほど前からこの町でも貸し半纏に変わってきました。
若山 話は続きますけど、私は平成5年から睦会代表をやっていました。その頃から同好会が大きくなってきて、50人、100人と来始めた。それまでは祭好きが町内の若い衆や友達どうしで5人、10人と集まって担いでいたんです。松本さん、あなたの同好会・祭好会も、その頃できたんですか？
松本 祭好会はもつと前です。私が18の時



鳥越祭り
鳥越神社の本社神輿が東三筋町会での渡御の様子です。

ですから。今年で55年になります。

若山 今は同好会がないと本社神輿は担げないですよ。町内神輿も担げない。それくらい町内には若い衆がいらない。十人といないんじゃないですか。

中村 もうちょっといるけどね(笑)。
司会 でも、それは東三筋だけの話じゃないですよ。

苗木 小学校低学年の頃に引越してきまして。担ぎたい子供が多くて、座布団(肩当て)で場所取りしたのを思い出します。

粕谷 肩当てね。あれは私が作ったんですよ。100以上作ったのかな。ウチの親父が作れって言うんで。自分の商売が椅子屋だから、綿を入れて紐をつけて作って町会に差し上げました。

司会 祭が近づく頃の昂揚感って大きいですよ。子ども神輿はどうでしたか？

苗木 東つたら三筋、三筋つたら東……って担いでいたから、三筋つたら東しかないと思ってた(会場笑)。いつの間にか南や北が出来ていて驚いた(笑)。

三上 私はここにお嫁に来たので、私が育ったところでは「ああ、お祭やってる」と思うくらいでしたけど、このお祭は正月より凄いなあとという印象でした。子供が小さい頃、転動でよそにいた時期がありました。お祭の時には戻ってきて、子供みこしに手ぬぐいやタオルで場所取りをしていました。

司会 正月よりすごいというのは、大

変なことですね。

三上 この町はお祭り大変って(笑)。

藤田 ずっとこっちにいなかったんですけど、2000年に、お爺ちゃんお婆ちゃんが出て、私たちは千葉にいてお祭の時と正月に来たくらいで、余り記憶がないんです。御馳走を作るのを手伝ったくらいです。子供たちは縁日を楽しみます。

関野 鳥越の神輿は、女は触っちゃダメで。本当に近くに行けなかった(笑)。
司会 今は違うんですよ(笑)。

関野 今は違う(笑)。戦後すぐ位はダメでした。触っちゃいけない。それから、二階から見ると下ろされちゃうの。

中村 上から見ちゃいけないの。
司会 男女関係なく？

関野 そうです。今はヒルばかりですけど、昔は平屋が二階建てですよ。たまに上から見ていると「降りろ！」って言われました。大きい神輿ですね。

杉山 子供の頃に嬉しかったのは、お祭という土曜日4時間授業が2時間(一同うなずく)で終わり。大福なんかもあって、町会の前を通りながら神輿に座布団を巻いて(大受け)席取りをする。一度家に戻って着替えて担いだという記憶ですね。今はそうじゃないんですか。

本気で町内で担ぎ手を増やそうとするなら、子供の頃から、他の子はまだ残ってるけど、早めに帰り、祭に参加できるっていうと、参加意識が高まると……。
司会 それはどういう意味ですか？ 他の子は残ってるって。

若山 精華小学校は3つくらい通学地域がまたがっているんです。鳥越の子だけはお祭りので早く帰す。

司会 そうですよ。でも、それは出来ないだろうって思ってお尋ねしたんです。

若山 昔はあったんです。今は出来ない。だから、ウチでも午後から子供神輿を出そうというのはそれなんです。昔はそうじゃなくて、2時間くらいやって鳥越のお子さんは帰す。蔵前や何かは残ってたんですよ。

杉山 蔵前なんかの子は残ったんです。鳥越の子だけ帰った記憶があるんですよ。
司会 蔵前の子は別の時に早く帰ったんですよ。そうですね。そうですね。

杉山 お菓子をもらって帰ってくる。それが子供心にとっても楽しかった。

司会 杉山さんは、小学校は昭和でいうと何年頃でしたか？
杉山 昭和25年生まれだから、32年から38年位。

苗木 私は柳北だったから、全部、鳥越の区域で全員が帰った。

杉山 もうひとつ子供の頃の記憶です。連合が、本祭りよりも陰祭りの連合で、大小のお神輿が広い通りに遙かかなたまで並んでいる記憶が鮮明に残っていますね。どの通りかはっきりしないんですけどね。

苗木 今みたいにビルがちゃんとなってるわけじゃなくて、似たような家ばかりだから、迷子になり帰れなくなっちゃう。

杉山 子供の頃は18町会回ると、意外と遠くまで来たという冒険もあったのかも知れ

ない。ただ隣の町会かも知れないんだけど。

妻倉 女の子はだれかが泣くと、みんな泣いちゃって、お爺さんたちに「がんばって、がんばって」って言われながらね。

浅原 私は昭和50年代の小学生です。その時はお祭は土日だけだったんですが、朝行つて点呼だけ取って帰ってきて、場所取りした記憶がある。

司会 先生が、お前とお前は帰っていいぞ、となるんですか？

浅原 いや、私は精華小学校なんですけど、全部点呼だけで終わってました。6月の近辺は年によって蔵前のお祭と重なることがあったんですけど、重ならない時は2週連続で休めた記憶があります(会場笑)。

司会 いい時代ですね。
浅原 父から聞いた話ですが、ウチは住込みの職人さんがいて、祖父が「お前ら、仕事するかお祭行くか」って。お祭の時も仕事するので、職人さんに担ぐか仕事かかって聞けば答えは決まっていますね。多い時は5、6人住み込みがいたので、担ぐ人が減っているのわかります。

司会 いい話ですね。1時間で終わるって、いいなあ。

思い出のみに軒

杉山 私たちの時、午前中もとも神輿を出して、昼は今は弁当なんです。昔は町内に唯一あった「みに軒」という食堂の食券をいただいていたんです。



みに軒
昭和20年代から東三筋町の唯一のカレーライス、ラーメンのある洋食・中華の食堂でした。町の人一度は行ったお店でしたが、今はもう無くなり戦後の懐かしい感じの食堂でした。

私は姉と三人兄弟ですが、初めて親抜きの外食は「みに軒」と記憶しています。子供だけで食券を持って行くんで、冒険というか楽しい思い出です。今は親も一緒です

杉山 35、36人で2クラスでした。
中村 母は大正6年生まれで精華卒ですが、亡くなる少し前にいろいろ話を聴きました。昭和10年代も祭りは結構賑やかだった。東三筋の半纏はあつたの？と聞いたら、

あつたと。でも職人さんが多くて、どこも印半纏を持っていて印半纏で担いだそつです。母はお祭が嫌いでした。「おさんどん」ばかりでお祭は見たことがなかった、と最後まで言っていました。お客さんも多くてね。うちの祖父もお祭好きだから、まあ大変だったんですよ。

お祭の時はいれなかったね。小遣いをもらえて縁日で使い放題だし。今考えると、お祭は子供のためにはあ

るんですね。でも、大きな神輿を見ると、はやく大きくなって担ぎたいという気持ちだったね。昭和20年代の後半は子供が多かった、なんてこんなにいるかと思うくらい。だから、お神輿に取り付けられない子もいたで

しょうね。

司会 揃いの半纏は戦後ですか？

中村 ウチに戦前のが残ってんですよ。東三筋って入ってる。揃いの浴衣は一年おきにつくってましたよね。子供は半纏なかったから浴衣でね。

杉山 浴衣を作ると、次の1年間は寝巻になるんですよ（会場受ける）。

関野 中村さんのところでお団子をいただくのが一番の楽しみでした（笑）。

司会 それは毎年のことなんですか？

関野 そう、毎年。出るものが決まってきたから楽しみでした。

中村 じゃあ、やります。復活して（笑）。とにかく母は祭を見たことないですね。縁日も見たことないって。

苗木 私たちも縁日行ってない。

中村 すみませんねえ（笑）。

司会 さっきの小学校の話ですが、中村さんはひとクラス何人だったんですか？

中村 俺の時は46人で4クラス。多かったですね。何しろ同年が全国で230万人だから。

吉村 北の方から越してきたんで（笑）、

子供が3人いますが、正月より祭のほうが楽しみ。お年玉は親が回収しますけど（会場笑い）、お祭の小遣いは回収されないからクジなんかで3000円使ったりして、「俺より力ネ使ってるじゃないか」（会場笑い）って。

家で赤飯、ヒレかつ、煮物など用意しますが子供は食べない。いろいろお菓子をいただくし、屋台で買って食べるから。正月

より祭が楽しみというのは今も変わっていないでしょうね。

司会 それだけインパクトの大きい催しがあるってのは幸せですね。

吉村 そうですね。興奮して眠れないくらいの感じになってきますね。

北原 去年の祭で三日間、金土日と神酒所にいました。私の業界から何か地元のことを業界誌に書けと言われ、「神酒所から見た祭の風景」を書こうと思いつき、三日間の風景を載せました。たまたま今回100周年があるので、内容を少し変えて「神酒所の風景」にしてコラムを書いたんです。

その時は、押田さん、町会の長老です、お元気で神酒所に来て喋っちゃ帰りを繰り返して面白い話を聞きました。そこで、名前は出さず「長老が」として、書きました。昔と言っても終戦後の話ですが、本当に楽しかったんだなあというエピソードがいっぱいありました。

司会 祭の日に東三筋を歩いたら、大人も子供もいい表情をしてるんです。あれはいいですね。

松本 15、16の頃から祭好きという東京で一番古いお祭の会の人間です。同好会を作っている間に動いていて、都内の祭はすべて行ったつもりです。この5、6年は町会の役員やっています。

司会 地元のお祭というのは、よそさんと比べて特長という・・・。

松本 私は都内の祭を見ているんですけど鳥越の祭が一番、東京では一番だと自負しています。朝の本社の宮出しから夜の宮入りまで。

中村 確かに

本社神輿見ても格好いいし

ね、まあ、自分のところだからそうなん

だろうけど。

松本 誰が見てもお洒落

しますよね。初めて見る人

も。

中村 地元

根づいたお祭

なんです

ね、これだけ

はやっぱり鳥

越の氏子さん

の気持ちじゃないですかね。これが一番

きな力だと思えますよ。やっぱり鳥越のお

祭は格好いいものね。

司会 お祭りのお話で追加がありました

ら・・・。

中村 下町はお祭がひとつのキーワード

で、町づくりがされ文化が作られている。

それは否めないと思います。

杉山 子供神輿の時は新堀通りに出さない

で、夜、高張提灯がついて神社に入れる

で、六畳くらいの箱が動いている感じ

です。鳥越の祭は、皆さん正月より元気で頑

張っています。お年寄りが、ふだんは動け

ないけど、祭の3日間だけは動ける、と仰

るんですが、事実そうだと思います。

東京の祭は「かつく祭」ですからね。そ

うちは鳥越の祭が一番上だと思



同愛記念病院館

1923（大正12）、関東大震災がおき下町は大被害になりました。被災民を始め一般貧困者の救済を目的に米国が多額の支援をして、1929（昭和4）年に蔵前橋東側の現在地（安田邸跡）にこの病院が建てられ診療が始まりました。その後太平洋戦争の敗戦で1945（昭和20）年に占領軍に接收されましたが、1955（昭和30）年に接收解除となり、再整備して昭和31年に診療が再開されました。

日本中から来る

でしよ。

松本 北海道

から沖縄まで

（笑）。

中村 確かに

本社神輿見ても

格好いいし

ね、まあ、自

分のところだ

からそうなん

だろうけど。

松本 誰が見

てもお洒落

しますよね。初

めて見る人

も。

中村 地元

根づいたお祭

なんです

ね、これだけ

はやっぱり鳥

越の氏子さん

の気持ちじゃない

ですかね。これが

一番

きな力だと思

えますよ。やは

り

やっぱり鳥越

のお祭は格好

よいうって。都電が東三筋側を走ってましたね。危ないからだと思っただけで、出さないようにって裏通りを通るけど子供は出したい。何故かというって、都電を止めたい（笑・会場大受け）。通りに出て神輿を落としてみんな逃げちゃう（笑・会場大受け）。そういうこともありました（笑）。大人が怒ってね。

司会 誰かがそそのかすんですか？

杉山 いや、みんなです

中村 新堀川を埋めはじめたのが大正初期

からで、6年か7年かかってるんです。

大正末です。だから、震災のすぐ後ですよ。

市電が大正10年に新堀通りを走りました。

粕谷 電車の格好が違っ、ここを走ったのは

流線型で丸みがあったんです

中村 蔵前の蛇善の所から三ノ輪車庫

まで。

司会 次に隅田川に架かっている橋の思い出

を。一番近いのは・・・。

麦倉 蔵前橋。今は同愛記念病院になっ

ているけど、あそこは米軍が接收した。

中村 駐留軍の病院だったからね。昭和24

年か25年に返されたんですよ。私は昭和23

年にこの病院で生まれました。

麦倉 3時になると、窓を開けて米兵がチ

ョコレットだとかお菓子を投げつけてくれた。

それを食べながら蔵前橋を渡ってくるの。

蔵前国技館

司会 もうひとつ。今はお相撲という両

国国技館ですが、私たちの世代では蔵前

で、夜、高張提灯がついて神社に入れる

で、六畳くらいの箱が動いている感じ

です。鳥越の祭は、皆さん正月より元

気で頑張っています。お年寄りが、ふ

だんは動け

ないけど、祭の3日間だけは動ける、

と仰るんですが、事実そうだと思

います。東京の祭は「かつく祭」

ですからね。そのうちは鳥越の祭

が一番上だと思

います。

いけど、祭の3日間だけは動ける、

と仰るんですが、事実そうだと思

います。東京の祭は「かつく祭」

ですからね。そのうちは鳥越の祭

が一番上だと思

います。

すよね。蔵前国技館のお話を。

長谷川 蔵前の変電所ところに税務署の

官舎があって、同級生がその子供だ

った。官舎の人が蔵前国技館の番人

をしていたの。よく裏から入って

見ました。

司会 タダで？

長谷川 はい。食糧事情が悪い頃で、

お客がミカンとか焼き鳥なんか置

いて帰っちゃった。そういうのを

貰って食べてました。当時、千代

の山とか東富士が横綱でした。お

袋が千代の山のファンで、サイン

を貰ってくるとお袋が喜んで

ましたよ。

司会 蔵前国技館は東三筋から

歩いてどのくらいで行けますか？

長谷川 5分。10分はかからない。

渡邊 ぼくら小学校の時はあそこ

でずっと野球の練習をやった。精

華公園が山を作った。キャッチ

ボールも何も出来なくて、近く

には蔵前国技館しかなかった。

場所が空いている時はいつでも

使わせてくれる。駐車場みたいな

表側の空いている場所

でね。稽古に来た相撲取りが、

「俺にもやらせろ」って一緒に

遊んでいた。裏口から入って

よく見ました。お金なんか

払わない（笑）。

中村 蔵前国技館の横は中央社

という出版会社の倉庫があ

って、壁を皆飛び越える

わけですよ。いや、よく入

ったね。

井村 たぶんここにいる人は

皆、タダで見るね（賛成多数）。

北原 俺もタダ。官舎の網の破

れているところから入った。

関野 焼き鳥のにおいしか分

からない

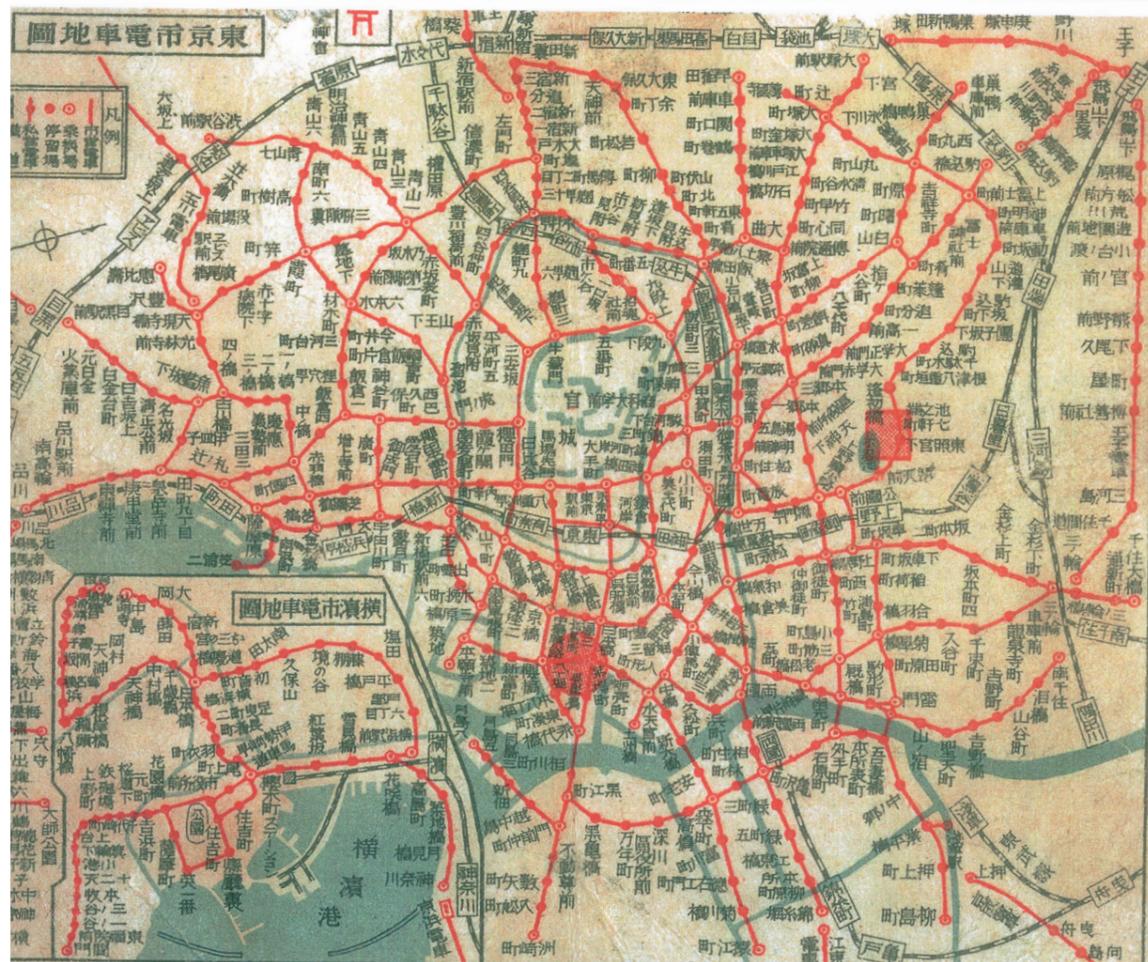
で、夜、高張提灯がついて

神社に入れる

で、六畳

くらいの箱

が動いて



大正15年の東京市電地図



(笑) 松本 東富士が確か柳北小学校でしょ。

中村 越えるのが面倒くさくてね。それで左のほうにお茶屋があったじゃないですか。お客にくっついて入ったね(笑)。これが一番早かった。

司会 うるさくなかったんですか？

中村 平気で花道のところに座って見てました。相撲取り触れたもんな。プロレスの時はお茶屋がやらないから、壁をまたがないといけなかった(笑)。

司会 プロ野球はどうですかね。子供の頃に巨人ファンだった方は？(大多数が手を上げる)

若山 私はアンチ巨人なんですよ。巨人が負ければいいの(笑)。

司会 相手はどこでもいい(笑)。

後楽園に行く時は？

井村 都電一本で行けた。

司会 便利ですね。思い出話がたくさん出てきましたが、次は小学校。ご出席の方が通った小学校は複数だと思えますが、精華小学校の方は？(精華が多数) 他には？

松本 私は小島小学校。

司会 精華は校名が変わりましたよね。旧名の同窓会はやっているんですか？

中村 やってますね。

北原 昔は組替えはなかったんですよ。1年から6年まで同じメンバーですよ。

そうですね。

寺林 みんな顔見知りですが、マンション化が進むと、知らない人もいますよね。

司会 この地域で昔とこんな点が違うというのがあります。

北原 私が子供の頃は新堀通りの西と東、東は蔵前ですね。蔵前と東三筋は全く違いました。蔵前は、昭和40年代終わり頃まで、オモチャに関する店が多く全国相手に商売してました。大店という感じで、子供もそんな印象でした。

東三筋は職人の町。下請けさん、部品を作る職人さん、それと生活用品を扱う店が中心で、蔵前に比べ隣近所がよく見えた。建物もそんなに大きくなくて。

ビルが建つと付き合い方も変わって顔を合わす時間も減る。」どうしてるかな」とも思うけど、自分の仕事を中心に人付き合いは薄れてきています。以前に戻れというのは無理です。何かを通して、一番はお祭でしょうけど、文化を通してお付き合いできる雰囲気を作るのが大切だという気はしますね。

司会 昔でいう公団住宅の出始めはとも新鮮でした。カギを掛ければ、朝出て夜帰るうが、泊りがけで行こうが自由で。一戸建てに住んでるとそうはいかない。カギである種の自由が得られたんですが、それで減ったり消えたこともある。それが付き合いだとすると、その辺は？

北原 一番悪いのはオートロックですね。あれが出来てから余計悪くなった。中へ入れない、入れないイコールつきあいが出来

事なんてそんな気持ちがあります。

司会 倉本さんは東三筋に越してこられた。失礼ですが、おつとめは？

倉本 文京区で働いています、フリーランスですが。職場が自宅とも言えますね。大江戸線一本で行けるから便利です。住む切っ掛けは、元浅草にある知り合いのお父さんが経営するアパートに住んでこの地域が気に入りました。結婚する時に東三筋にマンションを買って住み始めたんです。

司会 注文をつけたい点がありますか？

倉本 それはないでしょ。父が転勤族なんですけど、40歳過ぎてこの場所になると馴染むなあと。お祭の時は、なんでこんなに盛り上がるんだって驚きました。元浅草でも大家さんに「なんで神輿担がない」って言われて担いだらそれなりに楽しかった。世田谷にいた時は、「何でこんなに気取ってるんだ」って腹が立つことが多かったですから。

東三筋はそうじゃない。町会で知り合った方は挨拶してくれるし、子供が散歩しても挨拶してくれる。ちゃんと人つきあいがあるって安心できますね。

司会 それは当たり前のことなんですけど、現実には当たり前じゃないですよ。

倉本 はい。代々木に7、8年住みましたが付き合いはまっただけでしたね。

司会 知り合いがいなくても困らない。困らないというのは困りますよね(笑)。

寺林 ええ(笑)。

司会 寺林さんは、お祖父さんお祖母さんが住んでいて、10歳の時に越してこられた

生まれ育っています。1974(昭和49)年生まれ。小さい時から、お祭や花火など地域の行事には参加しています。

大池 私は三代目。4、5年別のところについて、サラリーマンでまた戻ってきました。よそからこられた方は、町内の催しに積極的に参加してもらいたいですね。

碓井妻 1976(昭和51)年生まれです。今21歳の子供がいるんですが、その子が小学校に入った時にマンションを買って引っ越してきました。

最初は全く知り合いがいなかった。住民みんなが知り合いで、学校も親御さんが知り合い。みんな地元育ちなんです。女性も結婚して旦那さんが移ってきて住んでいる方が多い。町の敷居が高かったんです。「ちょっと嫌だなあ」と思っていたら、校長先生が「町会に行ってみたらどうか」とおっしゃってくださいました。

町会長さんを紹介いただき、役員なんかやって馴染んできました。町会活動は大事ですね。若いお母さんにも、町会に入ることを勧めています。

倉本 私は1968年(昭和43年)生まれ。10年くらい前に越してきました。縁もゆかりもない新参者です。町会には1年半ほど前に入って、時々、イベントやこういった会合に参加する程度です。

司会 さっき加藤さんが花火のことおっしゃったんですが、あれはこの花火？

加藤 隅田川です。花火は自分の土地の行事という意識ですね。青少年部に入って、消防団などのお手伝いもあって行われる行

司会 話題が変わりますが、子供の頃、自分の家で出されて歓声があがったメニューは何だったですか？

杉山 寿司はお客が来た時ね(笑)。

中村 メロン食べたくて、誰か病気になるまいかなあと思った(笑)。それからカステラね。バナナは運動会と遠足。

司会 カレーが出ませんけど、カレーライスは定番じゃなかった？

井村 ちゃんとしたルーがなくて、ウチで作ると水みたいなカレーだったね。

中村 うどん粉カレーね。

粕谷 お祭の時にみくに軒で(会場笑い)食べたカレーが美味しかった。

中村 もうひとつ。戦後は給食だったでしょ。食器はアルマイトだと思っていたら、昭和33年くらいまでは鉄製だったんですよ。

杉山 鉄？

中村 プレスで抜いて作る。角が鋭利だね。司会 世の中で一番まずいのは冷めた脱脂粉乳じゃないですかね。

中村 あれは飲めなかった。

第三部 東三筋町の町づくりを語る

司会 ここからは未来に向かう東三筋の姿についてです。どういう街づくりをしたらいいか、魅力のある町づくりについてもいろいろな世代の方々にお話を伺います。忌憚のないお話をお願いいたします。

加藤 両親は地方出身ですが、私はここで

ない、無視されれば連絡も取れない。あの影響が一番大きいでしょうね。玄関まで行けないわけですからね。

碓井妻 以前はカギはかけなかったんですか？

北原 カギどころじゃない。茶碗持ってメシ食いに行く感じだから(会場笑)。例えば、焼き物する時は外でやるから何を食っているかまでわかっちゃう。

碓井妻 ああ、七輪で。

将来のあるべき姿とは

司会 ビル化が進み風通しが良くなっている。そんな中で、町会や台東区がどうあってほしいか、という点は住民の中で纏まった考えはあるんですか？

北原 小学校のあるところは三桂町会、それから精華町会是新堀通りの東側ですが、あそこはマンションが続々出て若い人が増えています。若い層をターゲットにしたお店も出ていて、学校を中心にしたエリアに変わりつつある。

その先の江戸通りから隅田川のあたりまで行くと、直近では江戸通りを中心にホテルが出来てます。両側がホテル街になって、最近はずちからまっすぐ隅田川に向かったところ、オモチャの増田屋さんの敷地で、13階建てのビジネスホテルを建設中です。300部屋くらいになるようです。ホテルがどんどん増えているのが江戸通り周辺です。

新堀通りからこっち、東三筋は、マンシ

きなキーワードになると思っています。それが続けない限り楽しい町にはならないという気がします。

下町はお祭が繋がっています。だからお祭という切り口で人間関係が繋がっていくというのがあると思います。小学校の頃は、町会で運動会をやり、潮干狩りやったり船橋ヘルスセンターに行ったりしてました。単純かも知れないけど、楽しい思いをしました。だから、皆で楽しいことを少しずつやっていったほうが良いと思います。

加藤 私は生まれた時からそのビルに住んでいます。築五十年近い建物ですが、小学校低学年まで自分の家にカギを掛けたことがなかったんです。新聞の集金や配達の人がくると、ピンポーンって鳴ったあと、向こうがドアを開けて「お届け物です」とか「集金です」と言う時代でした。同じフロアなり上の大家さんにおすそわけしたり、醤油ないから貸してというのがあったんですね。

小学校高学年くらいになると世間で物騒な事件が起こって、カギを掛けはじめた。夏の祭や餅つきのことを職場で話すと「今でもそんな行事をやっているんだ」って羨ましがられます。そんな町に住めてよかったなという思いがあります。

私も、安全ということ、人との楽しい繋がりがあって、「住んでいてよかったな」と思えることが将来の町会の活性化につながると思います。

中村 この町の大きさはわかります？ 東西100m、南北200m。そこに約

ヨンというよりアパートが中心の建て方です。だから、町会ごとに特色が出てきてますね。

司会 東三筋の「あるべき姿」、将来像というのは皆さんどうお考えでしょうか。

松本 町会長が言われる通り、昔はマンションはほとんどなかった。職人町で、何かあれば「おーい」ってすぐ隣に行ける雰囲気だった。今は9割方なくなってます。だから、どう皆さんと町会をやっていくか、自分でも考えているんですよ。

例をあげると、総務やって配り物なんかもして、だいたい町内を分かっているつもりですが、マンションの人と一戸建の人の付き合い方、それと、マンションの皆さんに町会のイベントに参加してもらえるか。確かにお祭やもろもろの大きなイベントにはマンションの人たちも出てくれて盛大にやっています。

どういう風にマンションの人たちにも考えてもらうか、イベント以外のことでも皆で町会の未来を考えるには、考えを変えたほうがいいでしょう。マンションの人は若い方が多くて、そういう方と昔からお住まいの方々のパイプをいかにつなげていくか、それが一番大きな問題だと思います。

北原 文化で繋がれば楽なんです。文化というのが続いているのはお祭で、それ以外の繋がりは楽しくないやいけない、辛いのはダメ。皆が楽しめるイベントを作り、それを続けるのは町会側の責任でやる必要がある。そして作った以上は参加してもらえよう努力すること。

1200人住んでる。もし災害起きたらどうするんだって考えないとね。

松本 マンション含めて所帯数が550位ですかね。

中村 何人住んでるのか実態が分からなかった。千何百人住んでるところで活動しようというのね・・・。
松本 戦後30年以降のことを考えれば良いと思いますよ。まだ一戸建のところは沢山ありましたよね。それが減って非常に難しい話題が出てくるんですけどね。

町づくりで大切なことは？

司会 次は、10年先、20年先の東三筋をどんな町にしたいか、という点を伺いたいと思います。

大池 子供の頃に船橋ヘルスセンターとか、浦安のハゼ釣りに町会の人に連れて行ってもらった。町会の前でドジョウ掴みをやった思い出が結構あるんですよ。

お祭の時に子供神輿を担いで神社に行ったことも鮮明に覚えていて、今の子供にも思い出を作ってもらいたいので、自分も活動に参加しています。

町が変わる、商売やる人が減る、これは避けられないので、順応して変わらばいいと思います。小学校6年間の付き合いで出来たお父さんお母さんの繋がりが参加してもらいたいんです。小学校の話は町会というより地域全体のことになります。

司会 学校の連絡網はなくても、それに代わるものは皆さん持ってますよね？

他の町会も苦労して続けているのはなかなか難しいようです。細かな問題も起きる。決まったイベントはあっても、新しいのを決められないのが現状ですよ。

碓井 住んでいるマンションに関していえば、ほとんど纏まっていない。マンション総会がありますが、毎年出てくる人はあまりいない。私は近隣に知り合いがいた方がいいと思ひ、菅屋さんに紹介してもらい町会に入りました。それがなければ、どうしたらいいか分かりませんでした。接点を作ることは大事ですが、必要ないと思っている人を引き込むのは無理ですね。東麻布の知り合いが町会に入った時のことを聞きまして、昔からいる人が幅を利かせている町会は敷居が高くて怖い、と。

司会 あるべき姿、こうあってほしいというものを。

碓井 青少年部で中心になって活動している人はみんなサラリーマンなんです。お祭や餅つきも皆忙しくて土日も予定が合わない。調整して打ち合わせたり、平日にメールで決めたりしています。

マンションのファミリーは子供が小学校までは出てくれます、町の行事に。中学生になると参加しなくなる。だから小学校の間に取り込むのがいいのになって、両親をですね。ウチのマンションも、小学校までは結構参加してくれました。

マンションに住んでいる人は、ここではずっと住もうという人と、またどこかに移り住もうという人がいます。子供が成長して狭くなったら、もっと広いところに行こう

大池 ええ。携帯があつて連絡は取れているので、以前の連絡網がなくても、データが残っていれば使えます。4つ上の姉がいますが、精華小学校の同窓会に積極的に動いている人がいて相当集めたようです。住んでいる人は少なくても、あとを追いかけて集めたって。今はそんな繋がりが出来るのだと思います。

司会 あと10年経った時の町会のイメージをどんな風に考えられますか？

大池 隣に誰が住んでいるのか分からない、というのが更に進むのでしょうか。ただ、この地域はお祭とイベントで繋がりが続くとも感じてます。会社で、「週末にイベントがあつた」と話すと、今でもやっているというのが職場の人の反応、「珍しいですね」って。下町では各町会がこの季節にバーベキューやって、暮れは餅つきしますよって言うんですが。

司会 祭があり花火があり、四季折々にあるじゃないですか。それは強みですよ。

大池 良い思い出を作ってもらい、次も参加してもらうことが重要なのかなと。

中村 今のお話はとても大事だと思う。東三筋に住んでいる子供たちに思い出を作ってもらえるので、未来の三筋町が決まりそうですね。この町で良かったなというストーリーになるんじゃないかな。

司会 伝統が途切れた地域が多い中、ご当地は強く残っていて羨ましいです。

中村 昭和30年から35年ごろのお祭の写真を見ると、メチャクチャ子供が多いよね。本当に子供が減っちゃったんです。

と、うちのマンションもそうですけど。いる間に何とか参加してもらおうって考えなければいけないと思います。

司会 ご当地は大規模マンションってないですよ。

松本 この辺のマンションは一番大きくて世帯数50くらいなんです。だいたい30から50世帯くらい。若い人が入っているところとウチなんか年寄りが多いんですが、町会に対する考えが違います。

北原 マンションに対して町会は何をしてくれるのか。マンションが困った時に助けられるのか。警察や消防とどんなお付き合いをしていますか。区役所とどんなことを決めてますか。そんな質問に一生懸命答えましたけど。何をするかじゃなく、町会が何をしてくれるかという話なんです。

松本 あの時は納得してもらいましたけど。

北原 そう。ポイントは町会費を払うかやめるかという話だったんですよ。

中村 やっぱり安全な町というのがひとつキーワードだと思う。それと、楽しい町。祭とかイベント、この2つが町を良くするキーワードだと考えたんです。町内のイベント多くなつたし、少しずつ知らない人も入ってきてくれる。それを繰り返せばマンションの人も必ず入ってくる。

個人情報の問題が頭に入った人が線を引いちゃう。線を引かなかつた人は町会の活動に入ってくれる。楽しいことやればマンションの人も来てくれますよ。安全で楽しい町づくりを、どうやるかが間違いない

御簾納 でも、小学校500人ですって。増えたんですよ一時よりは。

中村 全校で？ 昔は掃いて捨てるほどいたね。

三上 感じるのは、うちの前でも子供たちの声が聞こえないんです。幼稚園、小学生がいなくなっちゃった。

中村 勉強のほうに走っちゃうからね。

寺林 子供に声を掛けづらくなった。前は気楽に遊んであげて、「どこの子？」って聞けたけど、今それをやると変な人に思われちゃう。長年、子供神輿やイベントやってきて、顔見知りの小学生が高校生くらいになってて声を掛けられることがある。挨拶されると驚いて、うれしいやら何やらで。小さい子に声を掛けられなくなつて、「どこの子？」という具合になってますね。

知人が、お祭を知らないので神輿を担ぎたいと。だから、祭は色々準備があるので、手伝えは担がせてやるって言った。子供神輿をやれ、何もやれって(笑)。手伝ってくれて、町会員じゃないけど、だんだん認められるようになった。

長谷川 昭和15年生まれで、長く住んでますが何もしてなかつたんです。4、5年前から町会の行事に多少参加して、町会の仕組みなど勉強しています。

碓井妻 私も安全がキーワードだと思います。町会が何をしてくれるの？と言われると「ちょっと違つたよね」と思いますが、そう考える人もいるんでしょうね。

以前、ウチのマンションで大人が何人子供が何人っていう調査をしました。当時

は夫が役員で、そのデータは備蓄食糧を貰う時にも必要と言って、まったく知らない人にも教えてもらえました。防災面からも大事だと思っんですね。

中村 教えてくれましたか？

碓井妻 はい。被災したら何ももらえませんが、今年度、蔵前小学校も新しく出来て、そういう設備も取り入れると思います。楽しいイベントというのもそうです。まず何かやらないと話にならないですか。

今年のラジオ体操は西三筋と一緒にになりましたね。それはそれで良いことだと思うんです。台東区は狭いから近隣町会とも連携して、お母さんのネットを使って「〇〇のお祭は何処何処でございよ」って伝えると、子供たちも行きたがる。

三上 お話聞いているといろいろな考え方がありますね。私は受け継いだこと、やってきたことで頭が一杯ですが、確かに楽しいほうがいいですね。楽しくして、若い人に入ってきてもらいたい。10年20年先にも、地域のことを皆でボランティアで楽しくやっていきたいですね。

御藤納 知ってもらうことが大事なんじゃないですか、マンションの方も含めて。こんな仕組みで、年に何回イベントがあり、どんな活動をするというのを改めて知っていただく。関心のある方は参加していただき、短い時間でもいいからと。

倉本 挨拶が出来る町、近所つきあいがある町、良いなと思える町・・・こんなところを考えてみましたけど。

吉村 お祭や餅つきなどの行事が説明しやすいです。東三筋の良さを改めて考えることも大切です。最近、少しずつ個人商店が増えていますね。若い人が喜びそうなお洒落な店も。これも変化の兆しではないでしょうか。

中村 確かに新しい店が増えていますね。

松本 徐々に若返りして増えていくと思います。急激にやるのは無理で、長い目で見ながら皆で話してやれば町会は良くなるんじゃないかなと思いますけどね。

司会 3年5年で終わることじゃないですし、マラソン、いやリレーですよ。

松本 だと思えますよ。

中村 見ていると着実に広がっている気がするんだよね。

司会 面白い話がいろいろ出ました。次の世代とは申しませんが、新しい人たちにも聞いてもらうといい内容だったと思います。有意義なお話を伺えました。

東三筋の発展をお祈りします。長い時間有難うございました。



座談会に協力した皆さん